

重点事業 I - 1. 本郷焼でつなぐ、灯とサインのみちづくりプロジェクト

1. 背景と目的

住民アンケートでも住民のみなさんの関心が高かった「夜のまちなみ」について、本郷の夜のまちなみの暗さを活かし、趣きのあるまちなみみづくりに取り組みます。本郷焼の行灯や陶板サインによって情緒漂う夜の本郷のまちを演出するとともに、ナイトバルのような滞在して楽しめるプログラムを展開することで、地域の住民も来訪者にも愛される本郷らしい夜のまちなみの雰囲気を醸成します。

2. 対象範囲



3. 実施内容

①本郷焼の行灯を主要な通りに設置



②本郷焼の陶板サインを主要な辻に設置

瀬戸町通りからまちなみに入していくと魅力的な路地がはりめぐらされており、焼き物の町の雰囲気を感じることができます。大通りから裏道へ行ってみたいと思わせる仕掛けの一つとして、代表的な路地への入り口や辻に本郷焼の陶板を使用したサイン兼照明を設置することで、まちあるきをうながすとともに、夜の本郷のまちなみを雰囲気よくライトアップします。

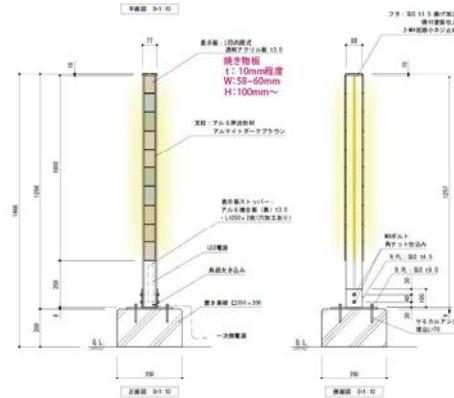
③本郷焼ナイトバルの実施

夜の趣のあるまちの展開にむけて、本郷焼で照らされた雰囲気あるまちなみ滞在により楽しんでもらうためナイトバルの実施に取り組みます。本郷の夜を楽しむプログラムを展開していきます。

【I 「東北最古の焼き物の町」に向けたまちづくり】

4. 事業実施のための主な要件と事業イメージ

◆陶板サインの実証実験結果による今後の検討事項



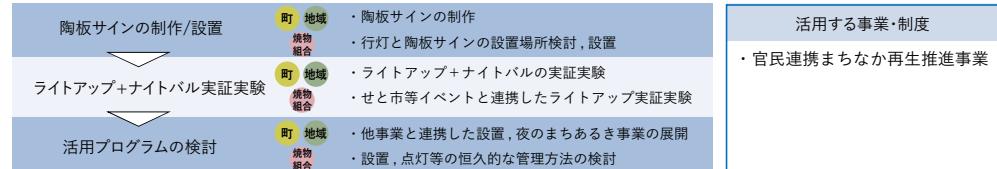
検討事項（複合社会実証実験より）

- ・陶板の模様の大きさによりLEDライトの電球が露出してしまうので、模様のひらき具合を検討。
- ・陶板と基盤の隙間の光の漏れの調整が必要。

◆ナイトバル イメージ



5. 事業スキーム



6. スケジュール

短 期	中 期	長 期
<ul style="list-style-type: none"> ・陶板サインの制作 ・せと市等のイベントと連携したライトアップ実証実験 ・ナイトバル実証実験 	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業と連携した夜のまちあるき事業の展開 ・設置、点灯等の管理方法の検討 ・ナイトバルの運営方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東北最古の焼き物の町」のまちなみみづくり ・本郷まちなみの周遊性向上 ・本郷の夜のまちなみの魅力創出

重点事業 I - 2. みんなで作ろう！町中に本郷焼いっぱいプロジェクト

1. 背景と目的

協議会でも多くの意見があった「まちを歩くだけで、焼き物の町だ、と思えるようなまちなみみづくりがしたい」にむけて、まちなみの要所に本郷焼作品の配置に取り組みます。窯元の作品だけではなく、本郷中学校の陶芸部や住民のみなさんにも本郷焼制作に参加してもらい、本郷のみんなで制作した作品を配置していくことで、焼き物の町のまちなみみづくりを進めるとともに住民がまちなみみづくりに参画できる機会をつくります。来訪者だけではなく、住民にとっても「焼き物の町」としての愛着を育て、誇りに思えるまちなみみづくりを推進します。

2. 対象範囲



3. 実施内容

①本郷焼の作品をまちなみかに設置

本郷のまちなみの路地、水路、ポケットパークに「本郷焼」の作品を設置することで、暮らしている人も訪れた人もまちなみを歩くだけで「焼き物の町」だと感じることのできるまちなみみづくりに取り組みます。また、それらの本郷焼作品をめぐることで、まちあるきを楽しむ仕掛けとしても活用することができます。

②各戸への本郷焼の設置（地域住民の陶芸体験）

住民アンケートでも本郷焼のまちなみへの設置は関心の高い項目だったことからも、窯元だけではなく住民のみなさんにも陶芸体験をしてもらい、制作した作品を家の玄関先などに飾ってもらうことで、本郷焼のあるまちなみみづくりを進めます。本郷が「東北最古の焼き物の町」であることの誇りや愛着を持つ気持ちをより醸成します。すでに連携のある本郷中学校の陶芸部との取り組みなど、可能なところから少しづつ取り組みます。



本郷中学校陶芸部

4. 事業イメージ

◆事業イメージ：大きな整備ではなく、住む人の工夫で「焼き物の町」のまちなみをつくる

土岐市 とっこりのまち：陶器で統一されたポストや、町中に置かれた陶器の置物を見ながら歩くだけで楽しい



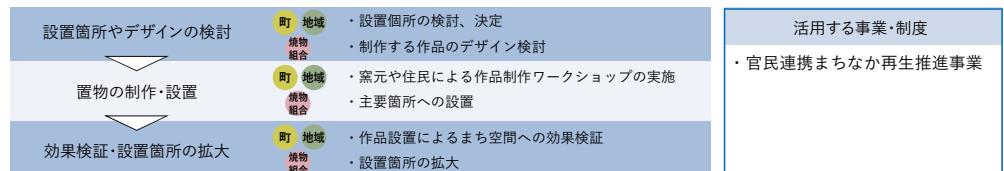
◆事業イメージ：象徴的な置物をまちなみかに点在させることで、焼き物の町をアピールする

信楽市 信楽焼のたぬきがまちなみの様々なところで置かれていて、「焼き物の町」の雰囲気がある

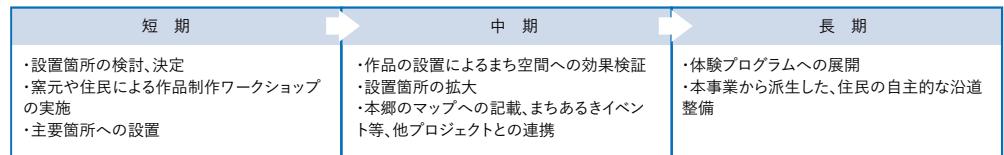


↓
本郷焼の発祥でもある「鬼瓦」をモチーフとした置物を窯元や住民により制作し、まちなみかに点在させる

5. 事業スキーム



6. スケジュール



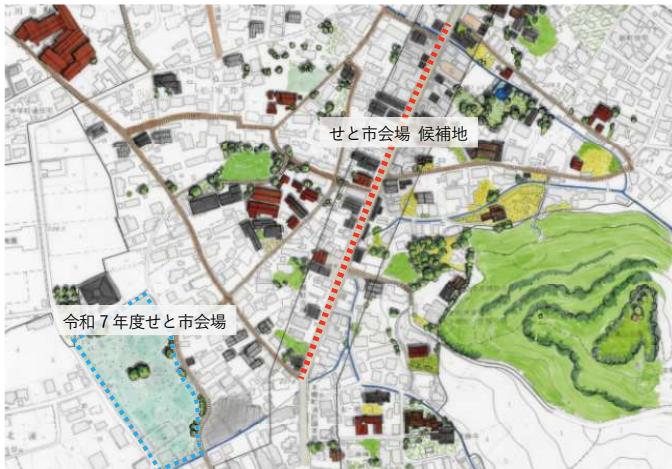
重点事業 I - 3. せと市プロジェクト

1. 背景と目的

協議会やせと市アンケートでも関心の高かった「風情のあるせと市」「昔のようなせと市」の実施にむけて、瀬戸町通りでの開催に取り組みます。また、せと市への来訪者の多くがせと市会場のみの観光にとどまっている現状を踏まえ、まちあるきマップ作成など本郷のまちなみを回遊してもらえるような仕掛けづくりにも取り組み、せと市会場だけではなく本郷のまちなみ全体にぎわいを創出します。

「せと市」をよりまちなみ開かれたものとしていくことで、「東北最古の焼き物の町」の風情や雰囲気づくり、住民が誇りに思えるまちなみみづくりにつなげます。

2. 対象範囲



3. 実施内容

①瀬戸町通りでのせと市の実施検討

協議会やせと市アンケートにて、「現会場は回りやすくて良い」「作品を見やすい」という意見の一方で、「瀬戸町通りでのせと市が本郷の誇り」「風情のあるせと市」というように、せと市の実施場所や方法についても関心が高いことが分かっています。より愛されるせと市を目指し、瀬戸町通りでの実施検討に取り組みます。



過去の瀬戸町通りでのせと市の様子

②せと市を拠点としたまちあるき

せと市には毎年多くの来訪者がありますが、せと市会場のみの観光で終わってしまっている現状がせと市アンケートからも分かっています。せと市会場だけではなく、各窯元でじっくりと本郷焼を買い物したり、路地散策（重点事業I-1、2などによる本郷焼を感じるまちなみづくりと関連）をする楽しみ方や、本郷焼以外にも向羽黒山城跡など、興味を向けてめぐってもらうことを目指した取り組みです。「本郷のまちなみ全体がせと市会場」となるように、一体的にまちあるきをしてもらいうイベントを推進します。

4. 事業イメージ

◆燕三条 工場の祭典

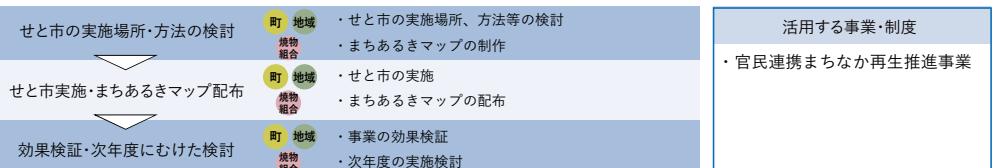
普段は一般公開されていない金属加工を中心にものづくりを行う多種多様な工場を一斉開放し、見学や体験をすることができるオープンファクトリーイベント。



まちあるきマップ：工場だけではない、様々な燕三条の見どころがわかる



5. 事業スキーム



6. スケジュール

短 期	中 期	長 期
•せと市の実施場所、方法等の検討、実施 •まちあるきマップの制作、配布	•事業の効果検証 •次年度にむけた改善点の検討	•風情あるせと市の復活 •まちなみを周遊する来訪者の増加

重点事業 I - 4. 住みたくなる・出店したくなるまちなみづくり

1. 背景と目的

まちなみづくりを進める上で、建物の修景は大きな要因の一つとなります。かつて整備された「まちなみ景観補助事業」の活用を目指すとともに、空き店舗の修景を先導していくことで、「東北最古の焼き物の町」としてのまちなみづくりを進めます。

また、すでに着手している空き店舗の修景や、清郷美術館などの雰囲気ある建物の修景を先導することによって、本郷への移住者や出店者を誘導し、交流人口や定住人口の増加を目指します。

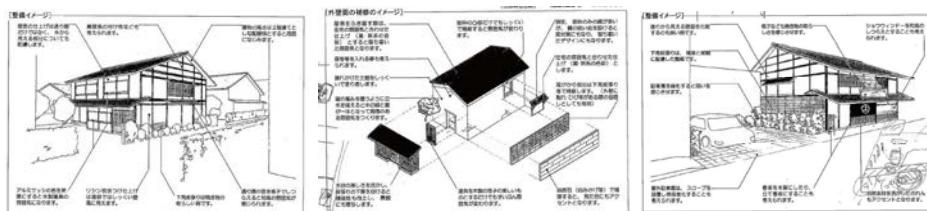
2. 対象範囲



3. 実施内容

①住宅の修景の実施（まちなみ景観補助事業の見直し）

かつて本郷地域で制定されたまちなみ景観補助事業内容が、いまの本郷のまちなみかに活用できるかを改めて見直し整備することで、まちなみ住宅の修景を促進します。



【I 「東北最古の焼き物の町」に向けたまちづくり】

②空き店舗・空き家の修景の実施

本郷のまちなみにある空き店舗や空き家の修景を先導することで、起業者や出店者が本郷のまちなみかに住みたくなるような環境づくりに取り組みます。建物の修景を進めた上での賃貸や売買することで、アピール力を高めます。



【実施イメージ：清郷美術館を修景】

まちとつながる店舗スペース

沿道に休憩できるような空間を整備



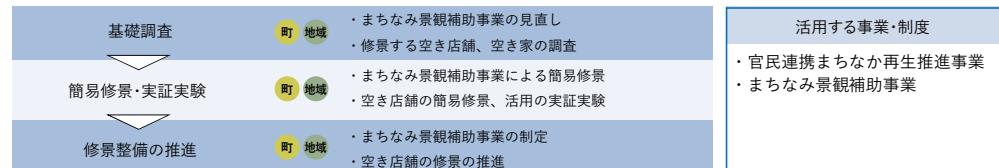
4. 事業イメージ

◆空き店舗の修景

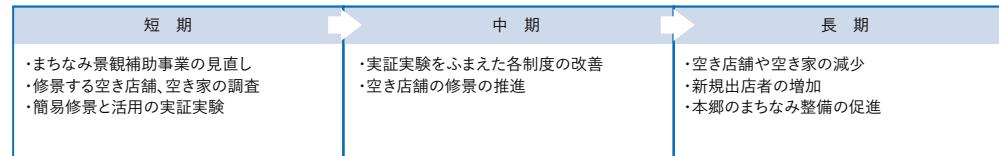
1軒だけではなく隣の空き家も一緒に活用を促すことで、まちなみが変化していく



5. 事業スキーム



6. スケジュール



重点事業Ⅱ-1. 本郷の「食」発掘プロジェクト

1. 背景と目的

協議会やアンケートからも「観光に来た人が食事をする場所が不足している」「地域住民にとっても食事をする場所がなく不便」「もっと本郷の美味しいものを売り出したい」といった意見が多くみられるように、本郷地域の課題の一つである「食」について、チャレンジキッチンを導入し新規出店者を誘導するとともに、食べ歩きフードやお土産の開発により本郷の食のPRを取り組みます。すでにある本郷のおいしい農産物、特産品、名物を発信しつつ、新たな飲食店を支援することで、本郷地域の食の充実を目指します。

2. 対象範囲 ※飲食店について要確認



3. 実施内容

①本郷の食の発掘の実施

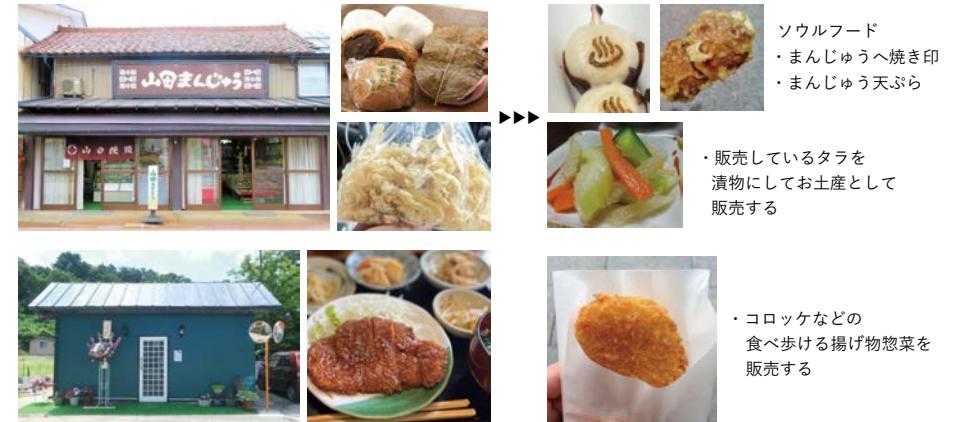
本郷の農家と連携し、野菜、果物、米などの本郷の美味しい食材や、本郷ならではの郷土料理など、本郷ならではの「食」を調査しPRします。また、本郷の飲食店と連携し、まちあるきをしながら食べられる食べ歩きフードやお土産などの検討に取り組みます。

②飲食店復活！プロジェクト

協議会や各アンケートでも意見の多かった、「まちなかで食べるお店が少ない」という課題について、イベント時や常設の店舗など、本郷の「食」を提供できる空間や、「食」を買い物できる機会の検討に取り組みます。

4. 事業イメージ

◆本郷の飲食店と連携した食べ歩きフードやお土産の開発



◆本郷インフォメーションセンターへのチャレンジキッチンの設置（重点事業Ⅱ-4 と関連）

窯の里いわて 2階（飲食店運営時の様子）



飲食店の開業者や、店舗を持たない料理人へレンタル

飲食店の開業を目指す人々や、新しいメニュー・ビジネスモデルを試したい事業者が、低コストで短期間に飲食業を試行できる場を提供する仕組み。実際に店舗で営業を行うことで、商品の反応や運営方法を試すことが可能。

5. 事業スキーム



活用する事業・制度

- ・官民連携まちなか再生推進事業

6. スケジュール

短 期	中 期	長 期
<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の飲食店や農家等へのヒアリング ・メニュー開発 ・チャレンジキッチンの需要調査、企画検討 ・運営方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちあるきイベント等での食べ歩きフードやおみやげの販売+チャレンジキッチンの実証実験 ・継続的な運営に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・本郷の食のPR ・飲食店の充実

重点事業Ⅱ-2. まちなか周遊 懇いの場づくりプロジェクト

1. 背景と目的

会津美里町において、住民が本郷での暮らし・学びを充実させ、その魅力を発信し、地域活性化の拠点となることを目的として、「本郷第一小学校」の跡地利用が検討されています。本基本計画と跡地利用事業との整合性や連携を図ることで、本郷のまちなか賑わいづくりを進めます。

2. 対象範囲 ※活用できそうなポケットパーク、醉月窓テラスのような場所があれば記載



3. 実施内容

①ポケットパークや水路等の活用

本郷のまちなかに点在しているポケットパークや水路などについて、住民や来訪者の憩いの場として活用する実証実験等を行なながら、よりよい活用方法の検討に取り組みます。せと市や向羽黒山祭りなど地域内でのイベント時のサブ会場として、食べ歩きフードの販売や休憩場所としての活用を検討します。

②本郷第一小学校跡地利用の検討

協議会やアンケート等による跡地利用に対する住民ニーズの把握と、本基本計画との整合性・連携に取り組みます。

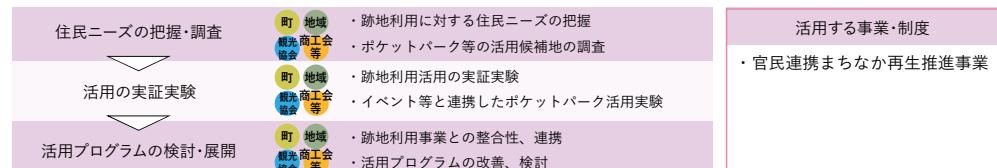
【旧本郷第一小学校跡地利活用方針】	
○本郷地区に賑わいを創出するための場所	○コミュニティを形成することができる場所
○子どもが自由に遊べる場所	

4. 参考資料

◆本郷第一小学校跡地 整備イメージ



5. 事業スキーム



6. スケジュール

短 期	中 期	長 期
<ul style="list-style-type: none"> ・跡地利用に対する住民ニーズの把握 ・ポケットパーク等の活用候補地の調査 ・イベント等と連携したポケットパーク活用の実証実験 	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地利用事業との整合性、連携 ・ポケットパーク活用プログラムの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地活用による賑わい創出 ・まちなかの沿道への賑わい創出

重点事業II-3. なんて素敵なまちなんだ！再認識プロジェクト

1. 背景と目的

静かで雰囲気がよく暮らすのに便利な立地であるところ、本郷焼があることで手仕事の良さや誇りが感じられるところ、教育環境が充実していって子育てしやすいところ、などの本郷の魅力を活かした「本郷焼を取り入れた暮らしの普及にむけた事業」と「本郷に滞在して過ごしてもらうための宿泊事業」に取り組みます。

本事業に取り組むことによって、本郷地域の魅力を来訪者に感じてもらうとともに、住民自身が再認識できる機会として推進します。

2. 対象範囲



3. 実施内容

①本郷焼でおうちごはんプロジェクト (II-1と関連)

「日常の食事において本郷焼を活用して食事をする」ことを普及させるため、各料理に合う本郷焼を示したり、本郷焼に料理を盛り付けて試食する実証実験を行うなど、本郷焼を手に取りやすくするための取り組みを推進します。



②本郷焼体験プログラムとセットとした宿泊スペースの整備

まちなかの空き家を活用し、宿泊スペースを整備することで、本郷のまちなかで滞在型の観光の推進に取り組みます。宿泊者限定の本郷焼の特別体験プログラムを楽しんでもらうとともに、向羽黒山城跡やCOBACO、本郷のまちなみ等、まちあるきを楽しむなど、ゆっくりと滞在して本郷の魅力を感じてもらう新しい観光を推進します。

【JERK事業と連携して展開】

- ・空き家を活用した民泊
本郷地区の空き家を宿として活用する（民泊新法）
- ・1棟貸しゲストハウス
ローカル食材を使った食事の提供、
宿泊者限定の体験プログラム（本郷焼特別体験ツアー）とセットにする



4. 事業イメージ

◆陶泊：丹波篠山市

陶芸体験などから一步踏み込み、陶工の自宅などに宿泊して生活を共にすることで、職人の手仕事や里の空気、文化なども味わう滞在型旅行。宿泊の前後では、若手陶工たちがソーガイドとして窯元巡りなど地域内をめぐり、陶工との交流を通じて、地域の日常に触れる。

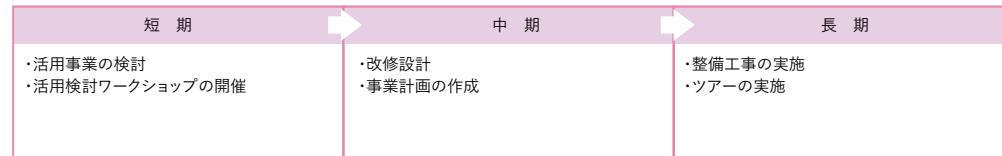


5. 事業スキーム



活用する事業・制度
・官民連携まちなか再生推進事業

6. スケジュール



重点事業 II-4. 向羽黒山もすごいぞ！プロジェクト

1. 背景と目的

会津美里町において「本郷インフォメーションセンター」「窯の美里いわて」「向羽黒山城跡整備資料室」の3施設を連携させた効果的な運用を推進し、会津美里町全体の文化観光価値を高める、施設改変事業が検討されています。本基本計画と文化施設の改変事業との整合性や連携を図ることで、本郷のまちなか賑わいづくりを進めます。

2. 対象範囲



3. 實施內容

本郷焼と、本郷焼だけではない地域の魅力を伝える施設を目指し、協議会やアンケート等による文化施設に対する住民意見の把握と、官民連携による施設運営の検討に取り組みます。

【文化施設の改変事業】

- ・施設間の役割分担と補完的活用の強化
- ・来訪者サービス向上と周遊促進の仕組み構築
- ・地域情報発信機能の充実と観光拠点化
- ・資料・展示物の適正配置と保管環境の整備

対象施設の現状一覧

施設名	構造	建築年	延床面積	現状と計画
向田山温泉 憩いの里	鉄筋 骨組構造	昭和38年	262.17sf	老朽化により 今後少しずつ廃止
本郷・イマジネーション センター	木造 骨組構造	平成16年	192.95sf	現存するに よる改修を計画
郷土の美術 いいたで	木造 骨組構造	平成21年	351.85sf	2階アテナiumが 施設化する見込

※向田山温泉憩いの里は1階温泉・宿泊棟・2階主棟・2階会議室を併設として利用

文化観光施設の活用計画(東)

本郷インフォメーションセンターの現状と計画

現状	計画
木造 骨組構造	木造 骨組構造
開館時間：午前9時	開館時間：午前9時
延床面積：192.95sf	延床面積：192.95sf

現状から20年経過した外観

改修計画と将来方針

現状	改修計画
木造骨組構造 耐震性・耐火性・耐水性等 既存の構造を活用する	木造骨組構造 既存の構造を活用する 耐震性・耐火性・耐水性等

令和7年9月

文化観光施設の活用計画(東)

今後のスケジュール・まとめ

実施期間・今後1年間～今後12年間(6年間)	対応年度	対応年度	対応年度	対応年度
実施期間・今後1年間～今後12年間(6年間)	対応年度 各施設別に定め た年	対応年度 各施設別に定め た年	対応年度 各施設別に定め た年	対応年度 各施設別に定め た年
実施期間・今後1年間～今後12年間(6年間)	対応年度 各施設別に定め た年	対応年度 各施設別に定め た年	対応年度 各施設別に定め た年	対応年度 各施設別に定め た年
実施期間・今後1年間～今後12年間(6年間)	対応年度 各施設別に定め た年	対応年度 各施設別に定め た年	対応年度 各施設別に定め た年	対応年度 各施設別に定め た年
実施期間・今後1年間～今後12年間(6年間)	対応年度 各施設別に定め た年	対応年度 各施設別に定め た年	対応年度 各施設別に定め た年	対応年度 各施設別に定め た年

※インフォメーションセンター改修
※向田山温泉憩いの里改修
※木造改修
※木造改修

※本郷・イマジネーションセンター改修
※木造改修
※木造改修

※郷土の美術いいたで改修
※木造改修

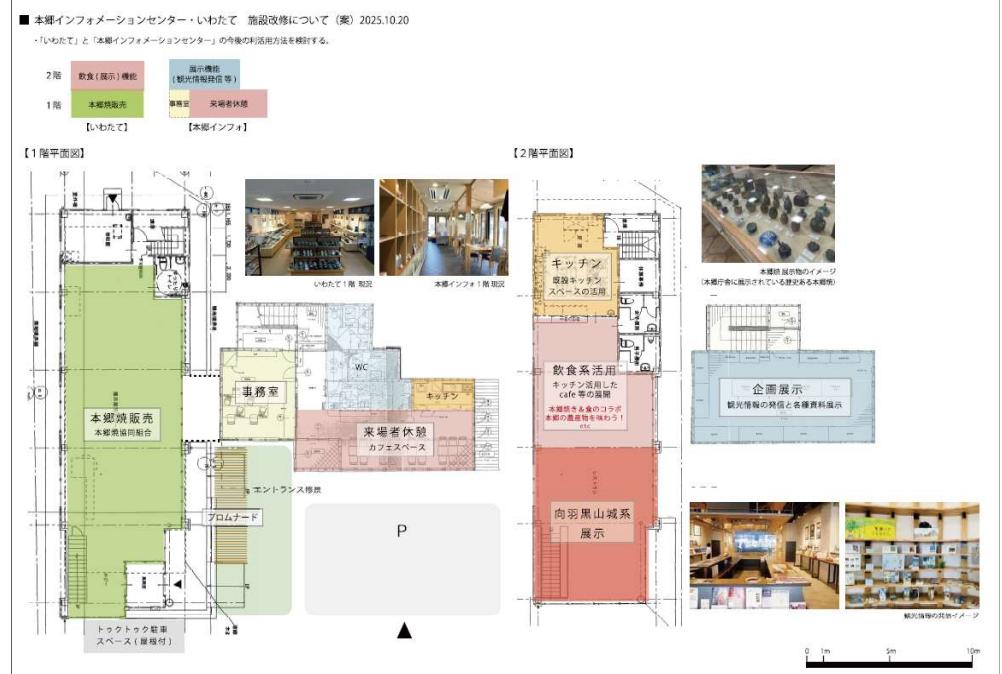
全体戦略：3施設連携による効率的運用・官民一体のエリア運営・地域資源活用による楽しい観光

令和7年9月

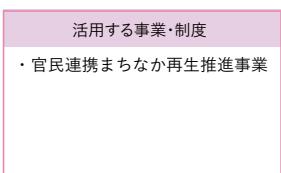
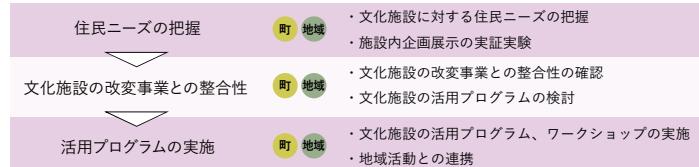
4. 事業イメージ

本郷インフォメーションセンターと窓の美里いわたてについて、下記のような改修計画を想定しています。

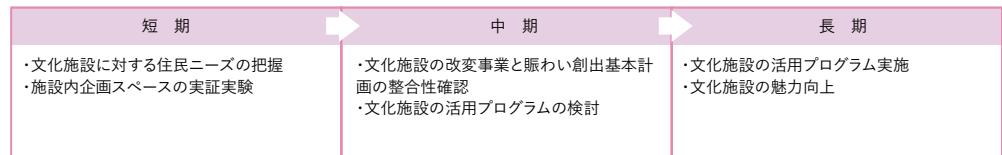
- ・1階にエントランス、プロムナード整備
 - ・いわて2階にチャレンジキッチンスペースを整備（事業II-1と関連）
 - ・本郷インフォメーションセンター2階に展示スペースを確保



5. 事業スキーム



6. スケジュール



重点事業Ⅲ-1. 本郷の魅力を伝えるプロジェクト

1. 背景と目的

本郷地域においてはホームページやSNSなど様々な情報発信に取り組む一方で、外国人観光客の急増によるインバウンド対応や、アンケート調査からみえてきた「東北最古の焼き物の町」のPR需要など、より多角的に本郷の魅力を発信していきます。本郷地域の認知度の向上や、来訪者・移住者などの交流人口の増加を目指します。

2. 対象範囲



3. 実施内容

①インバウンド対応

外国人観光客の増加に伴い、外国人向けのパンフレットやホームページ、まちなかのサインの作成など、インバウンド対応がなされていない箇所について対応します。

②周辺市町村イベントでの本郷地域のPR強化

周辺地域へ趣きイベント等に参加して、直接本郷地域のPRを行います。アンケートなどの調査より、本郷への来訪者の観光ルートとして前後に大内宿や会津若松市内をめぐる傾向がみられていることから、それらの地域での出張販売等に取り組むことで、本郷焼のPR強化とともに観光ルートの強化を図ります。

③「東北最古の焼き物の町」PRの強化

本郷地域の大きな特徴の一つである「東北最古の焼き物の町」ですが、アンケートより知名度が低い結果がみられた現状も踏まえ、PRの強化に取り組みます。

4. 事業イメージ

◆QRコードによるまちあるき（南会津町田島地域）

「観光QRガイド（飲食・見どころマップ）」を作成し、来訪者に対しておすすめの飲食店や店舗、見どころなどの各種情報を発信する事業。田島まちなかエリアの飲食店や小売店、観光スポットを掲載、GPS連動のマップ上に現在地とスポットが表示される。

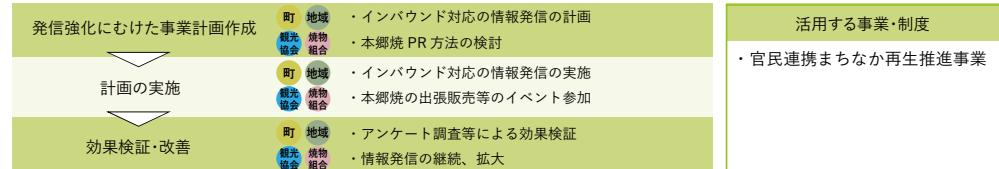


本郷地域の魅力をQRコードで発信+情報発信のインバウンド対応

【本郷地域でのQRコード設置イメージ】

- 各窯元：そこで買い物をしながら、その窯元の特徴や、器への料理の盛り付けイメージなどを見ることができる
- 向羽黒山城跡：その場を実際に歩きながら、歴史や背景を学ぶことができる
- 飲食店：そのお店で食べることのできる料理や、買うことのできるお土産を見ることができる

5. 事業スキーム



6. スケジュール

短 期	中 期	長 期
<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対応の情報発信の計画、実施 ・本郷焼のPR方法の検討、実施 ・本郷焼の出張販売の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査等による効果検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・本郷地域の認知度向上 ・情報発信事業の継続、拡大

重点事業III-2. 只見線や周辺観光と連携した、まちなか誘導プロジェクト

1. 背景と目的

町内の新鶴地区・高田地区との連携や、只見線、会津鉄道、「大内宿」といった奥会津の魅力ある地域との連携を強め、広がりのあるまちなか賑わい創出、複合的な魅力の発信につなげます。広域的に見た立地特性をいかしたまちなか誘導プロジェクトに取り組みます。

2. 対象範囲



3. 実施内容

①本郷駅舎一帯のまちのエントランスとしての魅力強化 (JR東日本スタートアップ事業の活用等)

JR東日本スタートアップ事業を活用しながら、只見線の会津本郷駅舎の魅力強化を図ることで、本郷の玄関口としての機能強化に取り組みます。本郷駅と本郷まちなかをつなぐトukトuk事業も推進します。

②周辺地域とのモデルルート創出やイベント協働の検討

会津美里町内の高田・新鶴地区との協働や、会津若松市や大内宿など町外の周辺観光との連携にするとともに、ドライブルートや只見線などを活用した観光モデルルートの検討に取り組みます。

③会津信用金庫の年金ツアーやDC等との連携

会津信用金庫のツアーや、ディスティネーションキャンペーンなど、民間企業と連携可能な取り組みを模索し、本郷地域への来訪者増加を目指します。



4. 事業イメージ

◆駅舎の利活用：只見線 会津柳津駅

JRから駅舎の無償譲渡を受け、地域のにぎわいづくりに活用。駅舎内にカフェスペースを整備。



◆モデルルートの検討：南会津町田島地域

田島まちなかエリアを楽しむ5つのルート設定

- (1) 「山・川・空・鳥」子どもとお散歩ルート
- (2) 駅から”ぎゅっと”手軽に魅力ルート
- (3) 会津田島祇園祭を感じる散策ルート
- (4) 「図書館長気分を味わう」小説の世界を歩くルート
- (5) 田島まちなかエリアたっぷり満喫ルート

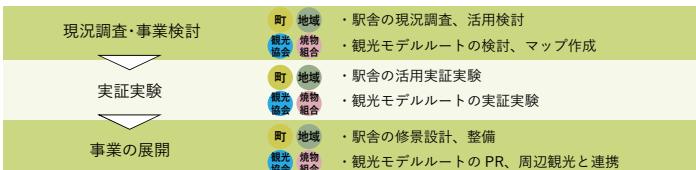


周辺観光と連携したモデルルートの検討

- ・大内宿や会津若松をふくめた観光ルート
- ・町内の3地区をふくめた観光ルート
- ・自家用車での観光者にむけたドライブルート
- ・只見線利用者にむけた、駅舎からの観光ルート
- ・本郷のまちなかを周遊するまち歩きルート
- ・トukトukレンタルツアー
- ・DCや年金ツアーと連携したツアープログラム



5. 事業スキーム

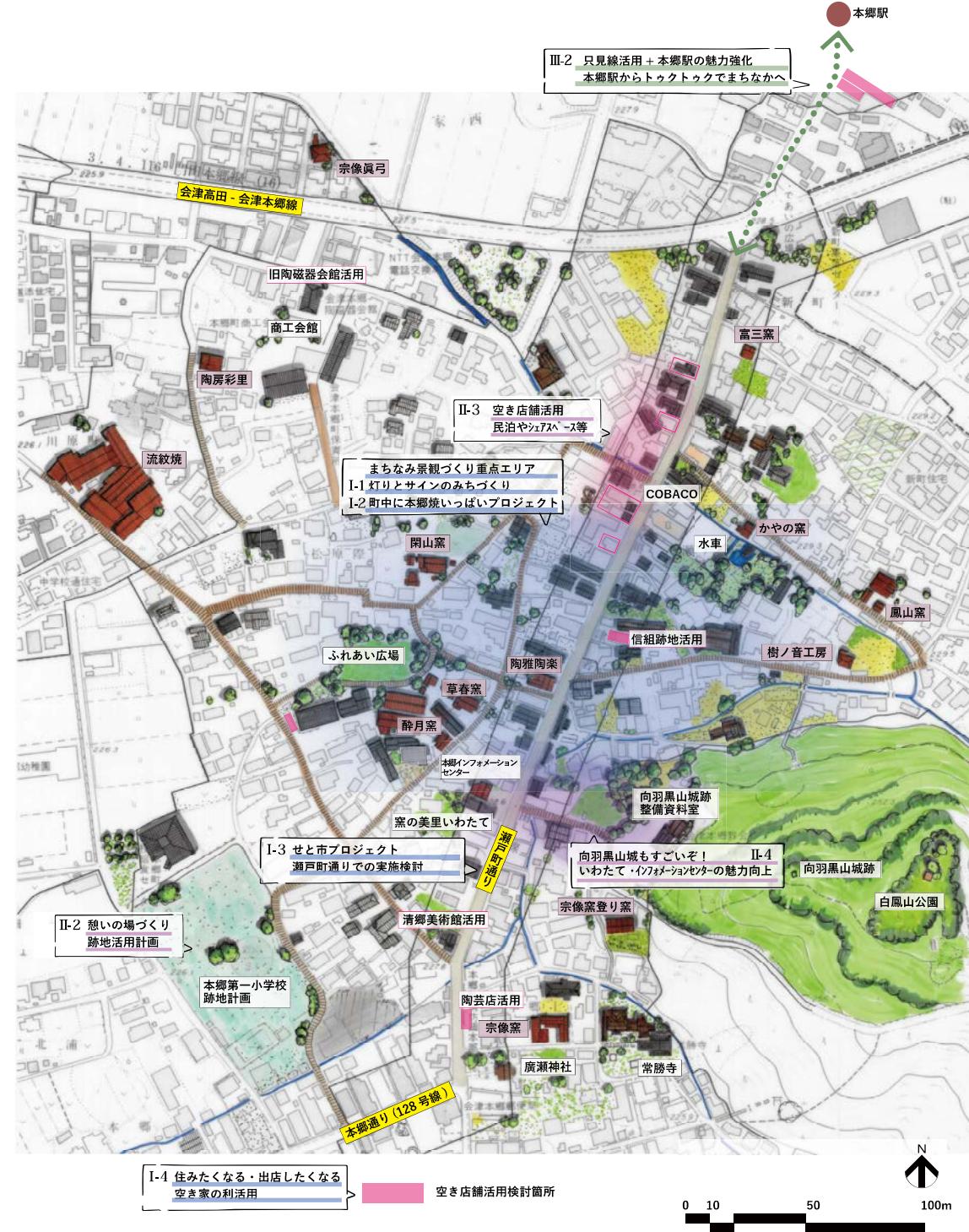


活用する事業・制度
・官民連携まちなか再生推進事業 ・JR東日本スタートアップ事業

6. スケジュール

短 期	中 期	長 期
<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎の現況調査、活用検討 ・観光モデルルートの検討、マップ作成 ・実証実験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎の修景設計 ・観光モデルルートのPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎の整備、魅力向上 ・観光モデルルートによる来訪客増加

まちなか賑わい創出全体将来計画図



事業スケジュール

■ 令和7年度事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■未来ビジョンの策定												
・まちなか課題と魅力の整理				↔								
・まちづくり基本的戦略の設定					↔							
・まちづくり重点事業の設定					↔							
・実証実験の実施			あやめ祭りアンケート実施 ●	せと市アンケート実施 ●		住民アンケート・実証実験(予定) ●						
・実績報告					2週目：常任委員会報告 <>		議会報告 <-----><	パブコメ及び修正 ----->				
■エリアプラットフォームの運営準備							エリアプラットフォームの立ち上げ準備 <----->	交付金申請 <----->				次年度案の作成 <----->
■本郷地域まちなか賑わい創出 基本計画協議会			第1回(6/19) ●			第2回(9/25) ●		第3回(11/12) ●				第4回(報告) ●

■ 長期事業スケジュール

	令和8年度												令和9年度												令和10年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
■未来ビジョンの策定	↔												↔																								
■未来ビジョンの実現にむけて																																					
■社会実験の実施	↔												↔																								
■エリアプラットフォームの運営	事業計画準備 ↔												事業計画準備 ↔																								
■実績報告				○	○	○											○	○	○																		
■本郷エリアプラットフォーム協議会	●	●	●	●									●	●	●	●																					
■文化施設の改変事業	各施設計画策定																											施設整備 →									

事業の展開シナリオ・スケジュール

基本方針	基本的戦略	施策（重点事業）	実施体制：事業主体 ●・連携 ○						R8年度 スタート アップ 事業	事業スケジュール（案）		
			会津美里町	焼物組合	商工会	観光協会	町民	民間企業等		短期	中期	長期
I まちなみづくり <small>「東北最古の焼き物の町」にむけたまちづ</small>	「東北最古の焼き物の町」を誇りに思うまちなみづくり	I -1 本郷焼でつなぐ、灯りとサインのみちづくりプロジェクト	○	●	●				★	主要エリアにて実証実験	継続的に発展	
		I -2 みんなで作ろう！町中に本郷焼いっぱいプロジェクト	○	●			●			事業検討	実証実験	継続的に展開
		I -3 せと市プロジェクト	○	●		○				瀬戸町通りにて実施予定		
		I -4 住みたくなる・出店したくなるまちなみづくり	●	○		○	○		★	建築物活用調査・実証実験	改修活用検討	→ 供用開始
II 魅力づくり <small>暮らしを楽しくするまちづくり</small>	まちなみの魅力向上にむけたコンテンツづくり	II -1 本郷の「食」発掘プロジェクト	○		●	●		●		他事業と連携・展開		
		II -2 まちなみ周遊 憩いの場づくりプロジェクト	●				○	○		路地空間活用実証実験の実施		他事業と連携・展開
		II -3 なんて素敵なまちなみだ！再確認プロジェクト	●	●	●				★	事業検討・実証実験	継続的に展開	
		II -4 向羽黒山城もすごいぞ！プロジェクト	●						★	計画策定・整備工事		
III しきみづくり <small>広くつながっていく</small>	情報発信のしきみづくり	III -1 本郷の魅力を伝えるプロジェクト	○	●		●				●	継続的に発展	
	いろんな魅力・周辺地域と連携したにぎわいづくり	III -2 只見線や周辺観光と連携した、まちなみ誘導プロジェクト	○	●		●		●	★	ツアーモデルの検証	プラン開発	継続的に展開

参考編 まちなかの未来に向けて

関連事業 【令和8年度官民連携まちなか再生推進事業】 国土交通省都市局

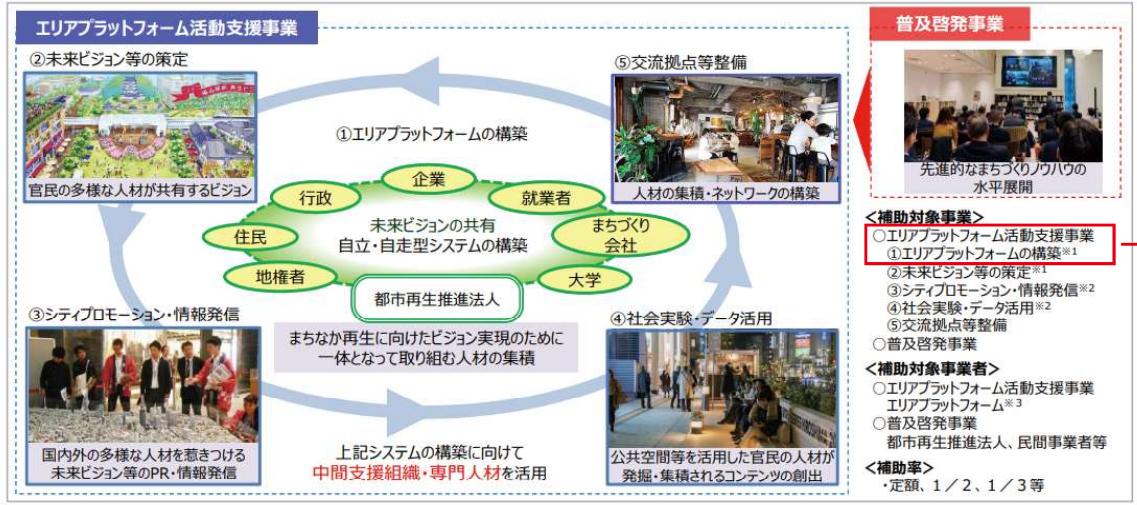
官民連携まちなか再生推進事業

令和3年度予算 5.1億円
(対前年度比1.02)

官民の様々な人材が集積するエリアプラットフォームの構築やエリアの将来像を明確にした未来ビジョンの策定、ビジョンを実現するための自立・自走型システムの構築に向けた取組を総合的に支援し、多様な人材の集積や投資を惹きつける都市の魅力・国際競争力の強化を図る。

【令和2年度創設】

未来ビジョン策定とビジョン実現のための自立・自走型システムの構築への支援



エリアプラットフォームについて

エリアの未来ビジョンを議論し、将来像を共有。

ビジョンに向かって、まちを動かしていく母体。

未来ビジョンについて

記載事項

○地域の特性の現況分析

都市の魅力や国際競争力を備えた都市を構築するため、現状のエリアの魅力（強み）や課題を抽出・分析。

○地域の特性を踏まえた目指す姿

内外の多様の人材に対し、魅力的でわかりやすいビジュアルにより、エリアの将来像を示す。

○目指す姿に向けた施策と役割分担

まちなかの将来像を実現するための方針や施策、実施体制（役割分担）を記載。

○目指す姿にむけたロードマップ

まちなかの将来像を実現するため、各段階ごとの取組の内容等を記載。

記載のイメージ

○ビジュアルで示すエリアの将来像



○将来像を実現する方針・施策や主体

将来像	方針	施策	実施主体
目 指 す 姿	①：〇〇	①-1：〇〇	都再法人
	①-2：〇〇	〇〇市	
	②：〇〇	②-1：〇〇	〇〇会社

○ロードマップ

